



唐竹雪化粧 A coat of snow covers Karatake

© photo by Isao Yoshida

## “ 奉仕を通じて平和を ”

RI会長  
田中 作次  
2570地区ガバナー  
鈴木 秀憲

### 重点課題は奉仕の追求

## 第 2531 例会 2013.2.20

—— 世界理解月間 ——

天候 晴 (NO. 49-34)

会長 安藤泰雄 幹事 島田秀和

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 市川(洋)君、和泉君

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8  
☎(042)974-4000

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 安藤会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・卓話 柏木正之会員

#### 【会長報告】

14日、IMのリハーサルに馬場委員とリュウ・ユウヒさんと出席。各クラブ、新世代の関係等について発表する予定で、当クラブも駿河台大学との交流等をテーマに、飯能日高テレビさんのご協力で準備を進めて来ました。ご出席頂き、声援を送って頂くようお願い申し上げます。

第11回奥むさし駅伝競走が無事盛大に開催出来たとの礼状が沢辺市長名で参りました。

#### 【幹事報告】

- ・週報：所沢東、入間、狭山中央、新狭山より

#### 【委員会報告】

◎雑誌委員会 土屋(崇)君  
「友」2月号。横組P1、RI会長「自分達が欲を満たすより、他者のニーズを優先する道を選ぶ事が超私の奉仕である」。RCは安全な水の不足、栄養失調、衛生環境や保健施設の欠如といった問題に取り組み、平和に貢献している。P13、関連記事。P6～「世界理解月間」に因む活動の報告。P27、鈴木ガバナー：自分を磨く事で「心がけ」が生まれ作法が身に付き尊敬されるロータリアンに。それが増強に繋がる。P33、R財団の「認証」にはクラブに対するものも。会員100%がポールハリスフェローになるとクラブに「認証」が受けられ

る。縦組P2、松本市長・菅谷氏は信州大学医学部卒の外科医で、小児の甲状腺がんの外科的治療の支援に参加している。セシウムの半減期は30年。チェルノブイリは原発事故後26年経っても30キロ圏内には人が住めない。費用対効果で除染も今は全然やっていない。福島も30キロ圏内には住めないだろうとの事。特に小児に放射性ヨードが取り込まれると5年目から甲状腺がんが発症、10年目でピーク。早期に発見し外科的治療するしかない。福島の25年後の姿が今のチェルノブイリ。我々日本人にとって、原子力、エネルギー政策を考えて行く必要があると結ばれている。「この人、この仕事」いわき平RC・江尻会員。国際的アパレルメーカー発展の要因は市場分析、情報収集、発注から40日で中国から各店舗に届く「鮮度」。「俳壇」に日高・犬竹会員の句。

#### 【セミナー報告】

◎吉田(武)会長エレクト

2/7 所沢文化センターでのペット研修会、2/11 嵐山・女性教育会館、R財団リーダー研修会(10~17時)に行って参りました。

◎矢島(高)会員

橋本(茂)大先輩は来月90歳。「卒寿のお祝いの会」ご案内を配付。4/14 飯能グリーンCCで約25組の参加をお待ちしています。祝賀会はヘリテイジ18時。石井(道)、細田(吉)、吉田(健)、大木先輩、安藤会長が発起人、私は事務局です。ご参加よろしくお願ひ申し上げます。

【出席報告】無断欠席なし 川口出席委員

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
54名	6名	44名	81.48%	92.59%

【M U】

2/12 (日高) 和泉君  
2/14 (第3G) 安藤君、馬場君  
(入間) 山岸君

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・ 柏木会員、本日は卓話よろしくお願ひします。  
間邊君、安藤君
  - ・ 誕生日お祝ひ有難う。 細田(伴)君
  - ・ 入会記念有難うございました。 大附君
  - ・ 家内の誕生日、お花有難うございました。  
川口君
  - ・ 早退 細田(伴)君、新井君、和泉君、大野君  
本日計 14,000 円、累計額 848,621 円。
- ◎ 27日例会当番は市川昭、加藤会員です。

【卓話】

講師紹介 高橋プログラム委員長  
柏木会員は古民家を改造して多くの方に  
ご利用頂けるようにされています。その様子  
を写真を織り交ぜながらご案内頂きます。

名栗すこやか村

飯能RC 柏木正之 会員

久しぶりに飯能市の人口を調べて愕然としたの  
ですが旧名栗村地域が2100人台になっていた。  
合併時の2700人から600人減っている。身内で  
考えても「柏木」を名乗る親族は3軒で最盛期24、  
5人居たが今は私の家族だけ。息子の嫁を入れて  
5人。私の一族だけでも5分の1ですから2100人  
台もやむを得ない。ただ、その中で、人が住まな  
くなった家屋敷がそのまま残っている。これをどう  
管理し、景観や環境を損なわずに維持していくか  
が大変な問題。今、ひな飾り展で、100坪ある総二  
階の農家「柏木分家」にひなを飾ってご覧頂いて  
いるのですが、ここともう1つを私が管理せざる  
を得ない状態です。そこで考えているのが、個人  
の財産だけれども個人だけのものじゃないんだ  
から利用出来る人に利用して頂きながら景観等  
損なわずに維持出来る方法がないかという事。それ  
が「一般社団法人 名栗すこやか村」の発想です。

〈以降、プロジェクト併用〉

明治からこのかた、山間地域での生活を支  
えていた基盤がそっくり残っている。名栗地域  
でもそういう例は少なく、生活文化のモニュ  
メントになるかなど、それをすっかり残して  
います。ここまで飯能駅から20キロ位。S53  
年頃から私が草刈り等しながら管理して  
います。昔は石垣を築いて山すそを開墾して  
畑を作っていた。竹に覆われていたので竹を  
切り竹根を掘って崩れた石垣を組み直しま  
した。建物内も直し、マキで焚く竈を厨房  
に用意。とにかく面積だけは広い。今の一番



問題が、住む人が居ないという事。ただ維持するにも費用が掛かる。木を売ってお金にする事は今のところ不可能。農作物を作ってもサル、シカ、イノシシの餌になるだけ。労力も無い。

しかし、こういう田舎も都会の人にとってはそれなりに魅力があるのではと声をかけてみると「こういう所で一晩位過ごしてみたい」「川遊びしたい」という人はたくさん居る。それだったら昔のままを取り戻し、つるべ井戸や納屋や蔵を直して皆さんに使ってもらいながら維持したら。ちょっと手を入れれば素晴らしい環境になるのに手を入れない事で荒んでいる環境というのが山間部では多くなるのです。この囲炉裏はたいへん好評です。

名栗の自然環境で今まで生活は成り立っていた。祖母は川越から、叔父の細君は東京から、母は飯能のまちなかからで、昔はそういった事が出来るような経済基盤があったのです。これからは生活基盤が無い。屋敷をきちんと管理していこうとすると、それだけでも労力が凄いです。それが嫌で出てしまう人が多いのです。それを逆に都会の人達への魅力ある商品として使えないかという事で、分家を継いだ身内にも「自分の財産だが自分だけのものと思うな。環境・景観を考えたら、使える人に使ってもらって、自分の負担にならなければ良いという位に考えなさい」と言っています。

今、「田舎」をきちんと守る、維持する事は大変な事。新潟に北方文化博物館というケタ外れな豪農の館があり、そこに「古い家のない町は想い出の無い人間と同じである(東山魁夷)」という言葉が展示されていて私は好きなのですが、名栗のこういった家は想い出ばかり、町とも言えない。建物を「一般社団法人」の所有にし、会員になって頂いた皆さんが利用する形にしていけば、このままの形で維持出来るのかなど。営業許可を取ろうとすると改造命令が出て、おそらく古い家の風情はかなり制約される。そっくりモニュメントとして残すには会員が使う形で出来ないかとやっています。何より大事なものは周辺の人に迷惑をかけない事です。山も畑も家も一年放置したらお化け屋敷。常に手が入らなければいけない。それを都会の人達に楽しみながらやってもらえるような方法がないかなどというのが発想の原点です。

吾野でもこういった問題があると思います。これだけ東京に近くてもなお、ある。これからどうなっていくのか非常に心配ですが、私が元気な間に何とか法人で管理出来るようなシステムを作りたい。仲間を募り理事にもなって頂いてますが「個人のものだけれども個人だけのものじゃない」、地域の皆で管理・活用し、都会の人との交流の場になり、地域活性化にも役立つようになってくればとやっています。一番欲しいのは若い人の協力。交流人口が増えれば人口減でも活力がキープ出来るのかなどという淡い期待を持ってやっているとございます。よろしくお願ひします。

※次週の例会案内は省略。